

無痛分娩

産科施設の立場から

～日本産婦人科医会施設情報からの解析～

日本産婦人科医会 幹事長 松田秀雄
医療法人社団 出産相扶会 松田母子クリニック

「施設情報」を利用した無痛分娩施設に関する年次推移データの解析 (日本産婦人科医会医療安全部)

[背景]

安全な無痛分娩をめぐる医療体制を構築するため、日本産婦人科医会は無痛分娩関係学会・団体連絡協議会(JALA)構成団体として活動している。

[目的]

日本産婦人科医会が把握している情報を用い、わが国の無痛分娩の実施状況およびその年次推移を把握することで、より安全な無痛分娩をめぐる医療体制の構築に関する検討の基礎資料とすることを目的とする。

[対象]

日本産婦人科医会「施設情報」2018～2023年

[方法]

日本産婦人科医会が全会員施設に提出を求めている「施設情報」の中に、「無痛分娩の実施状況」について記載する項目がある。その内容を解析することで無痛分娩の現状と近年の傾向を検討する。

対象施設

施設数	2,331 (2018報告)
	2,282 (2019報告)
	2,214 (2020報告)
	2,145 (2021報告)
	2,096 (2022報告)
	2,013 (2023報告)

総分娩数	5,134,072	
	(6年間 ; 2017.1~2022.12)	

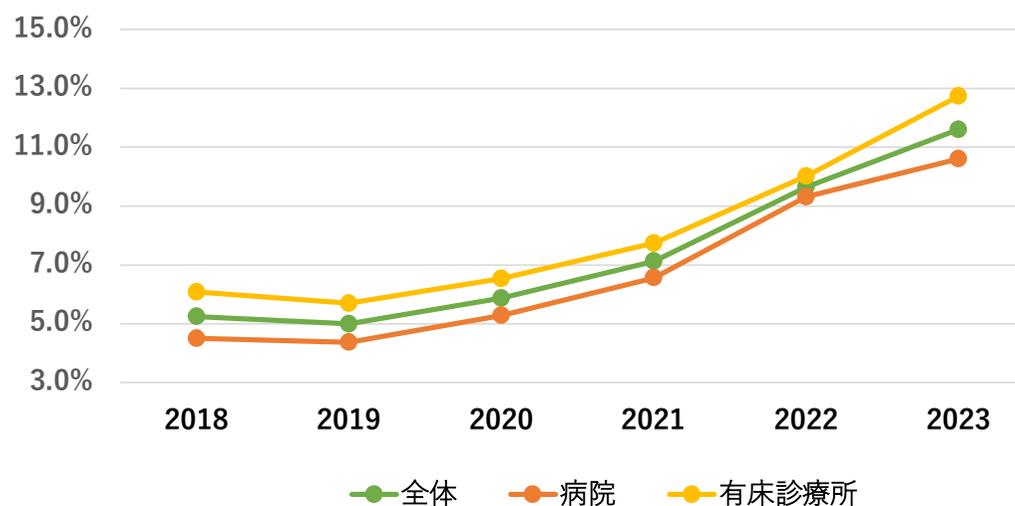
帝王切開	1,101,414	(21.5%)
------	-----------	---------

無痛分娩	372,553	(7.3%)
------	---------	--------

全分娩数に占める無痛分娩の件数

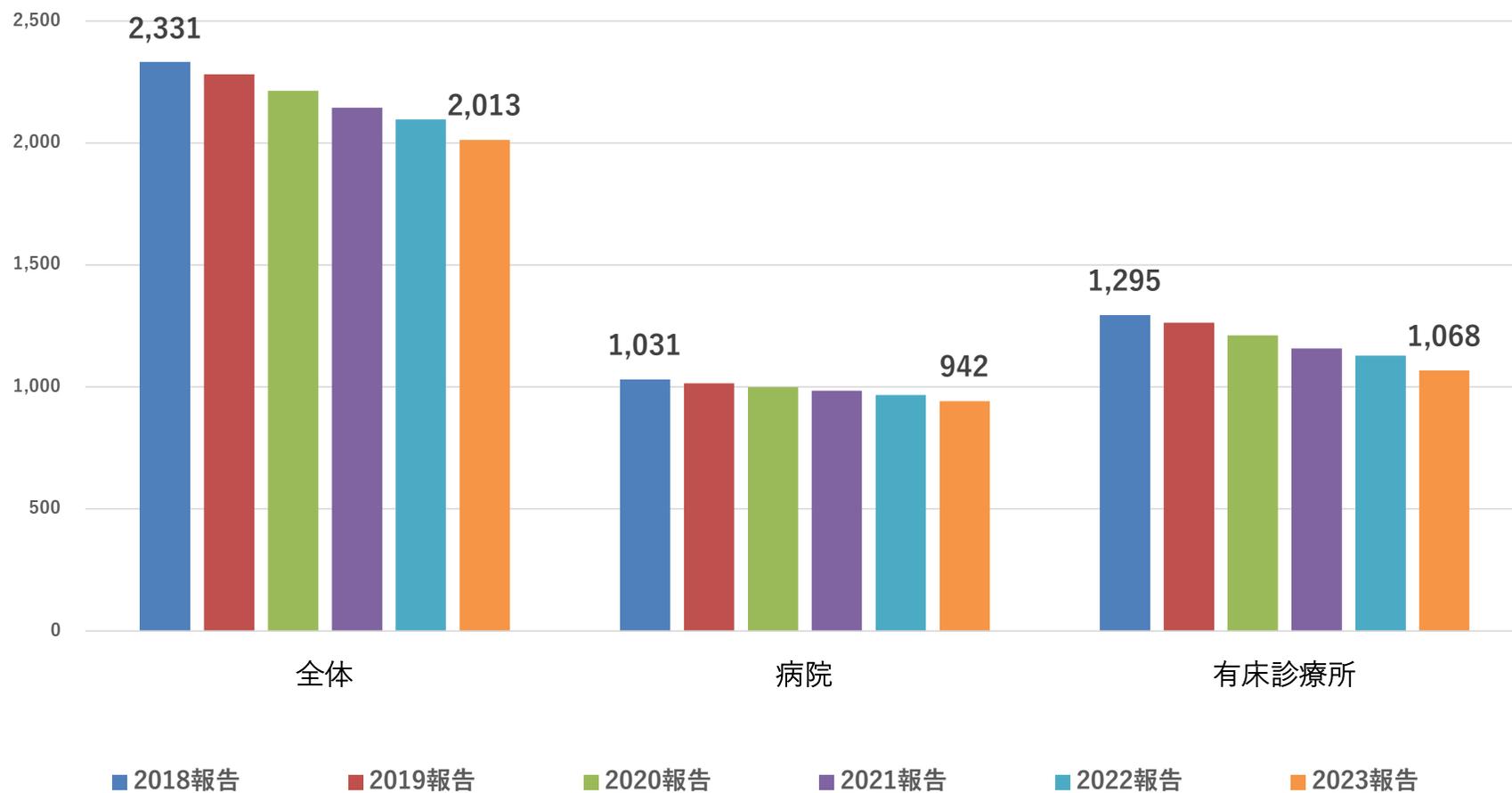
総分娩数に占める無痛分娩数の割合の年次推移

	2018年報告	2019年報告	2020年報告	2021年報告	2022年報告	2023年報告
全 体	5.2%	5.0%	5.9%	7.1%	9.6%	11.6%
病 院	4.5%	4.4%	5.3%	6.6%	9.3%	10.6%
有床診療所	6.1%	5.7%	6.5%	7.7%	10.0%	12.7%

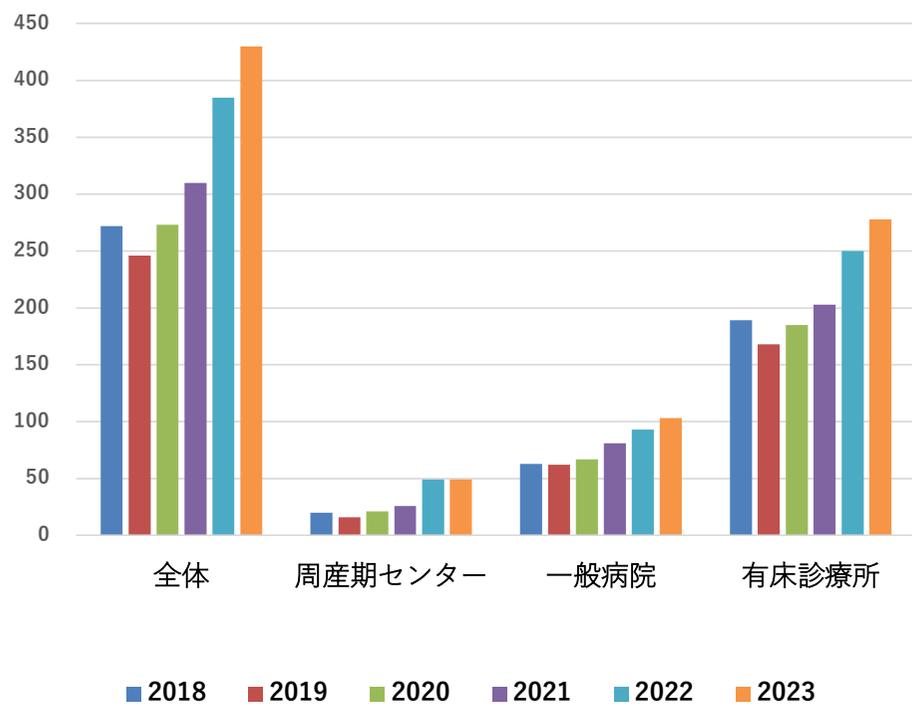


対象施設の数

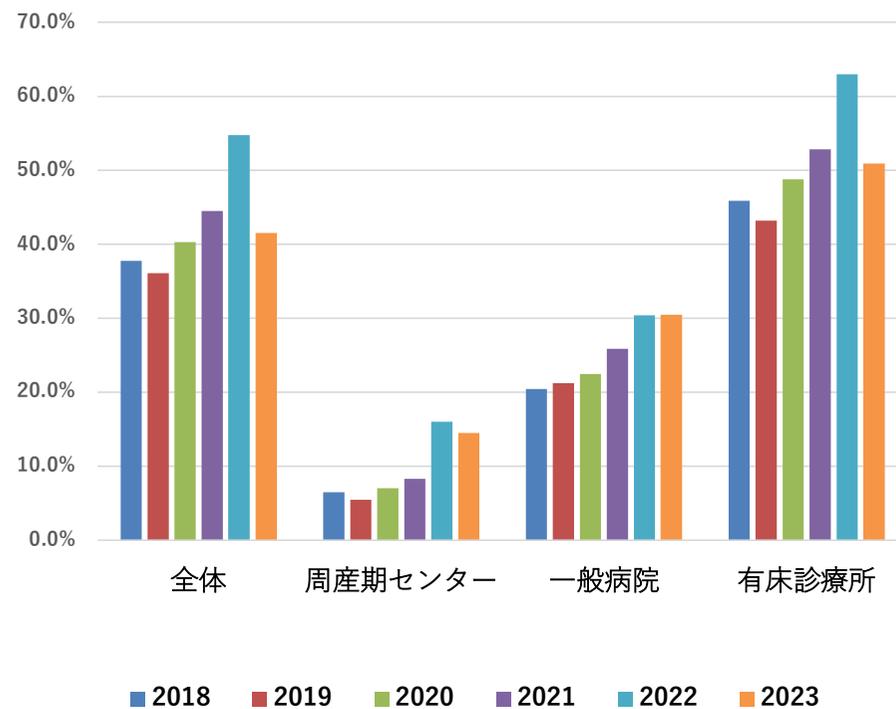
この6年間で
産科取扱病院 : 88件減少
産科取扱診療所 : 227件減少



無痛分娩数の割合が10%以上の施設数

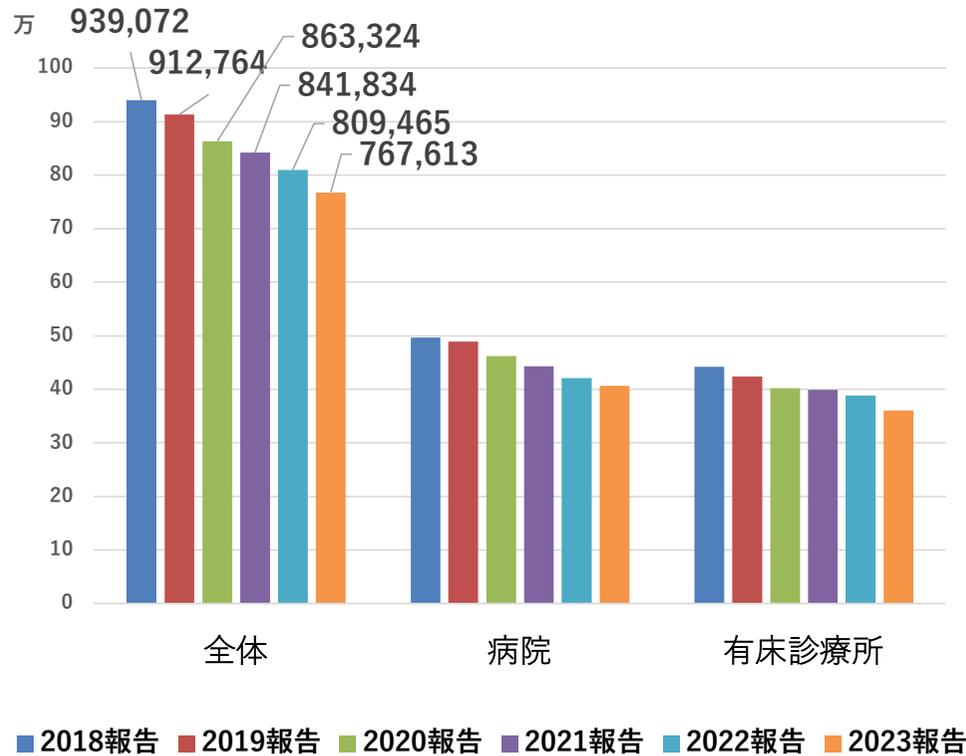


無痛分娩取扱がある(1件以上)施設のうち無痛分娩が10%以上を占める施設数の割合

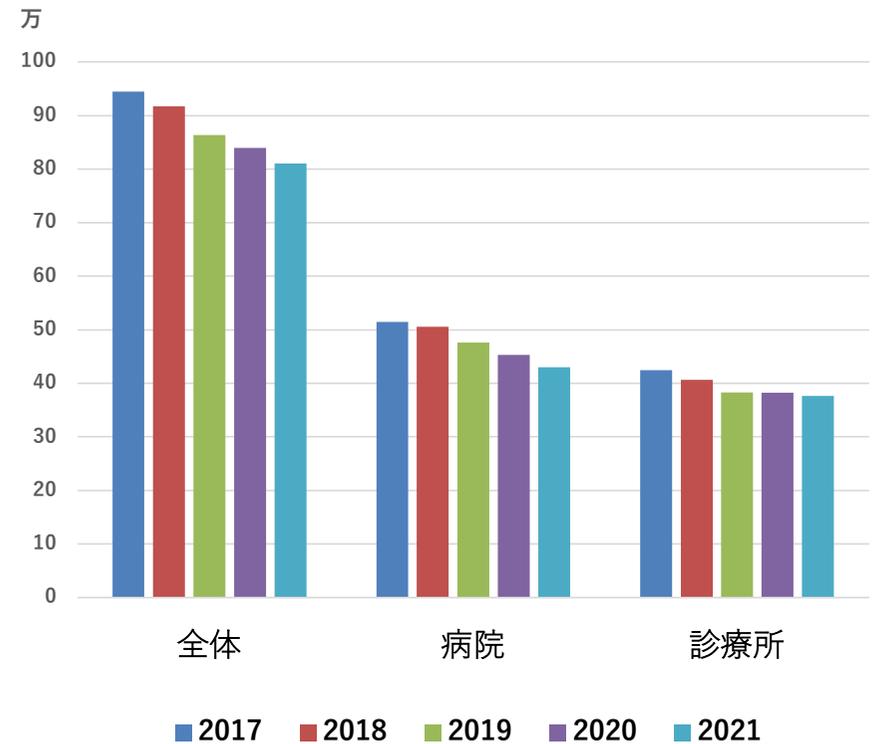


分娩数の比較

【対象施設の分娩数】



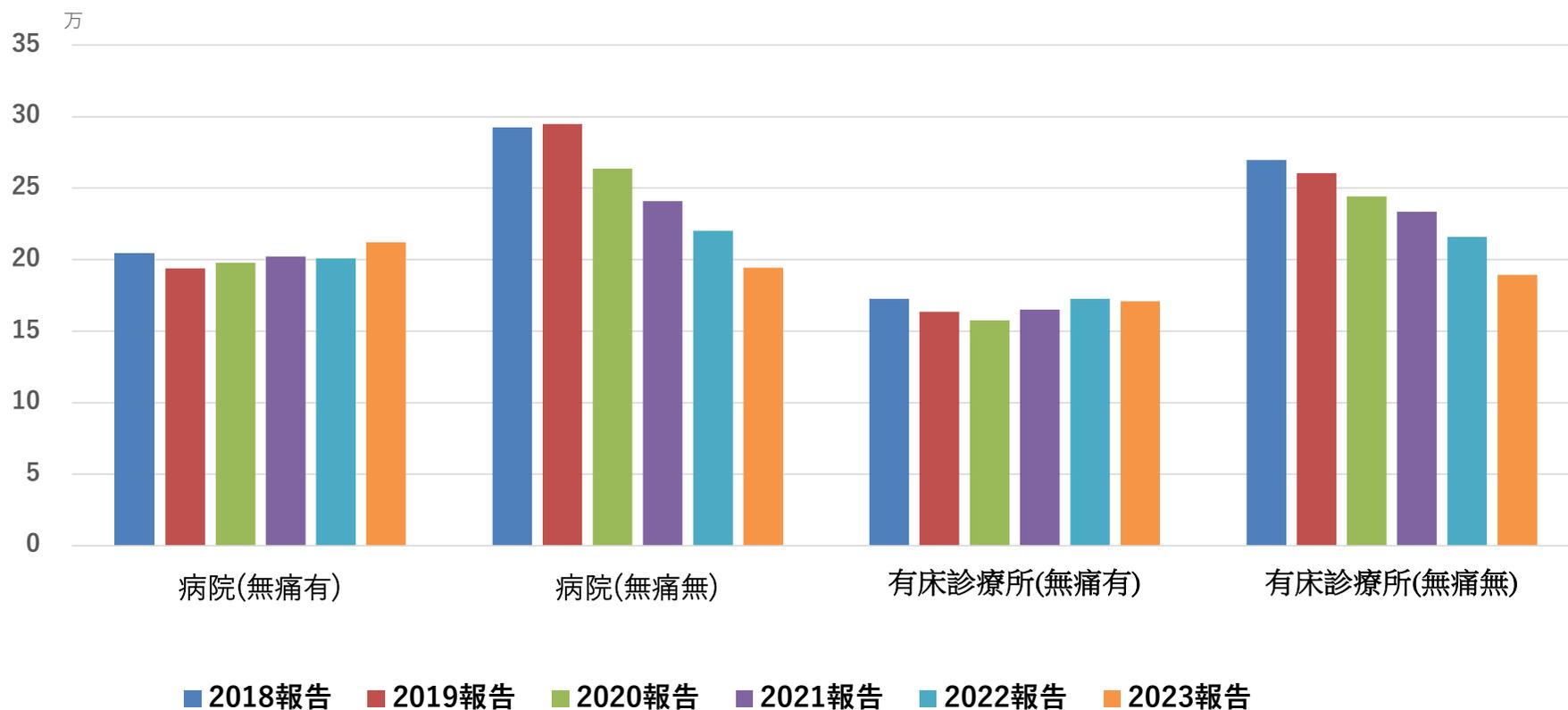
【人口動態調査の出生数】



分娩数の比較(無痛分娩有無別)

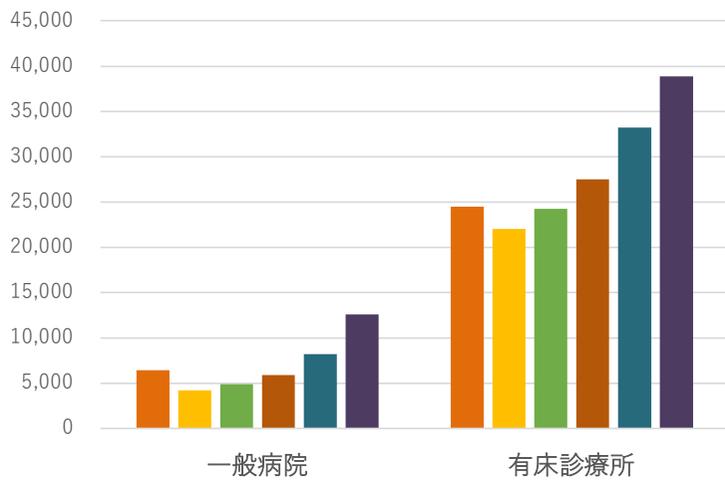
【対象施設の分娩数】

無痛分娩を行なっている施設の分娩数は変化ないが、無痛を行なっていない施設では分娩数は減少している



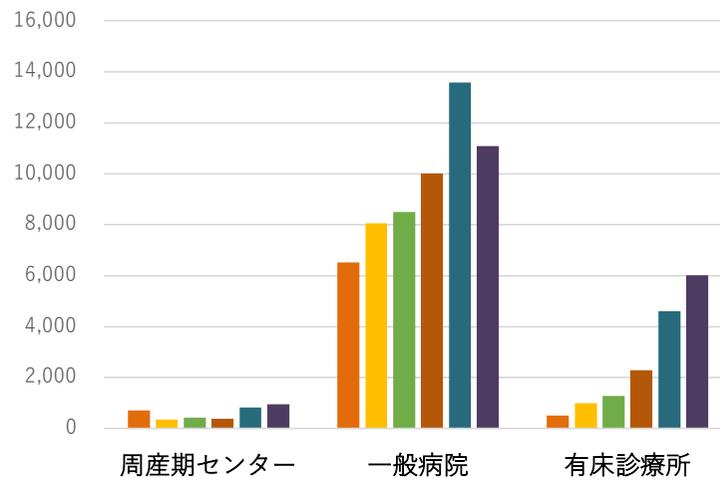
常勤医師数別・施設種類別無痛分娩数

常勤産婦人科医師1～4人の
無痛分娩数(医学的を除く)



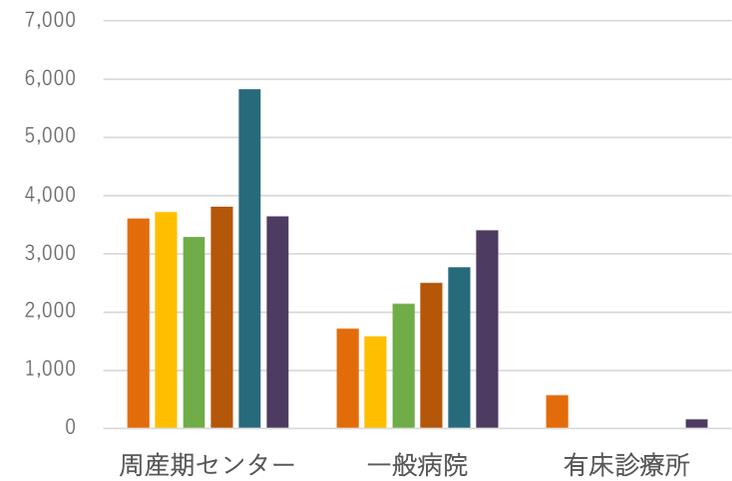
■ 2018 ■ 2019 ■ 2020 ■ 2021 ■ 2022 ■ 2023

常勤産婦人科医師5～9人の
無痛分娩数(医学的を除く)



■ 2018 ■ 2019 ■ 2020 ■ 2021 ■ 2022 ■ 2023

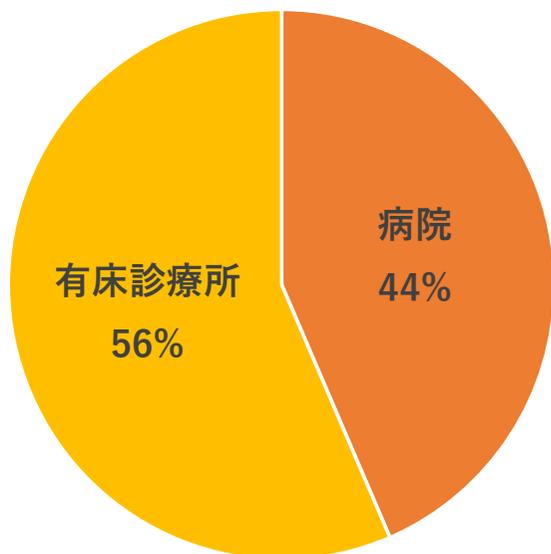
常勤産婦人科医師10～19人の
無痛分娩数(医学的を除く)



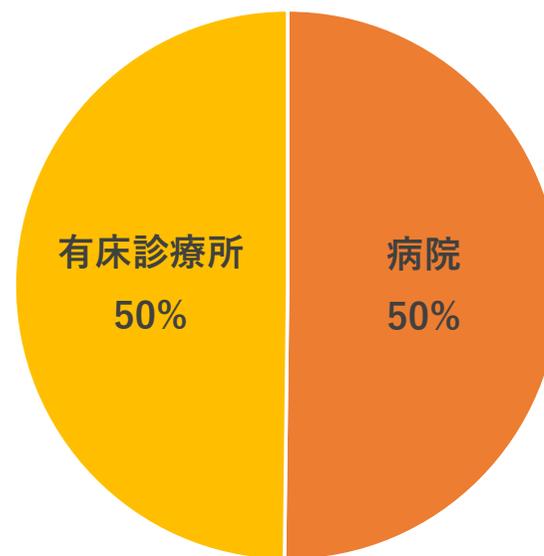
■ 2018 ■ 2019 ■ 2020 ■ 2021 ■ 2022 ■ 2023

中小規模の施設において
無痛分娩は増加傾向にある

無痛分娩取扱施設数 742施設(2023年報告)

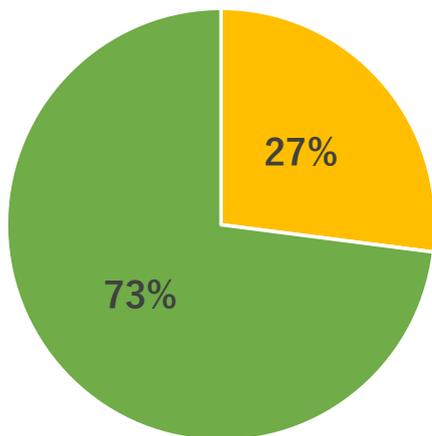


無痛分娩取扱人数 89,044人(2023年報告)

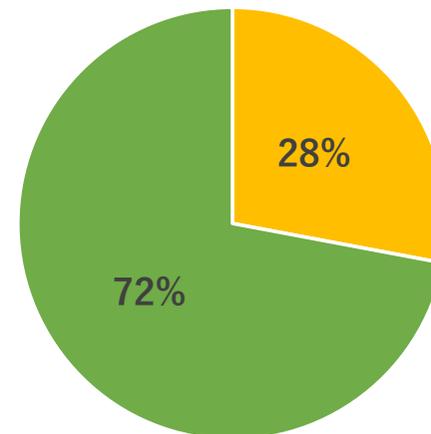


分娩数に占める帝王切開の割合[施設/無痛分娩(年間10件以上)有無別]

病院
【無痛分娩数する施設】



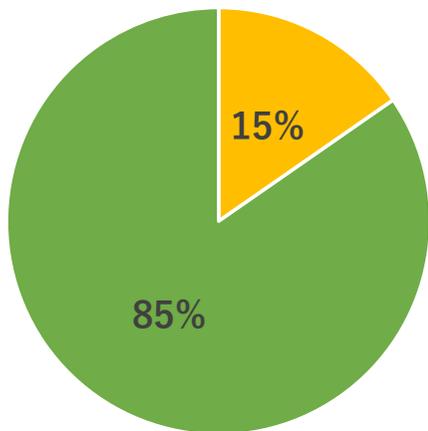
病院
【無痛分娩しない施設】



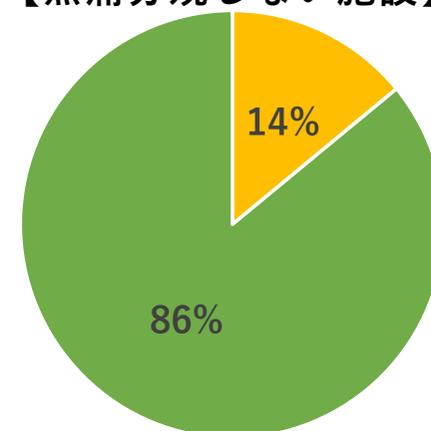
<6年計>

■ 帝王切開 ■ 他

有床診療所
【無痛分娩する施設】

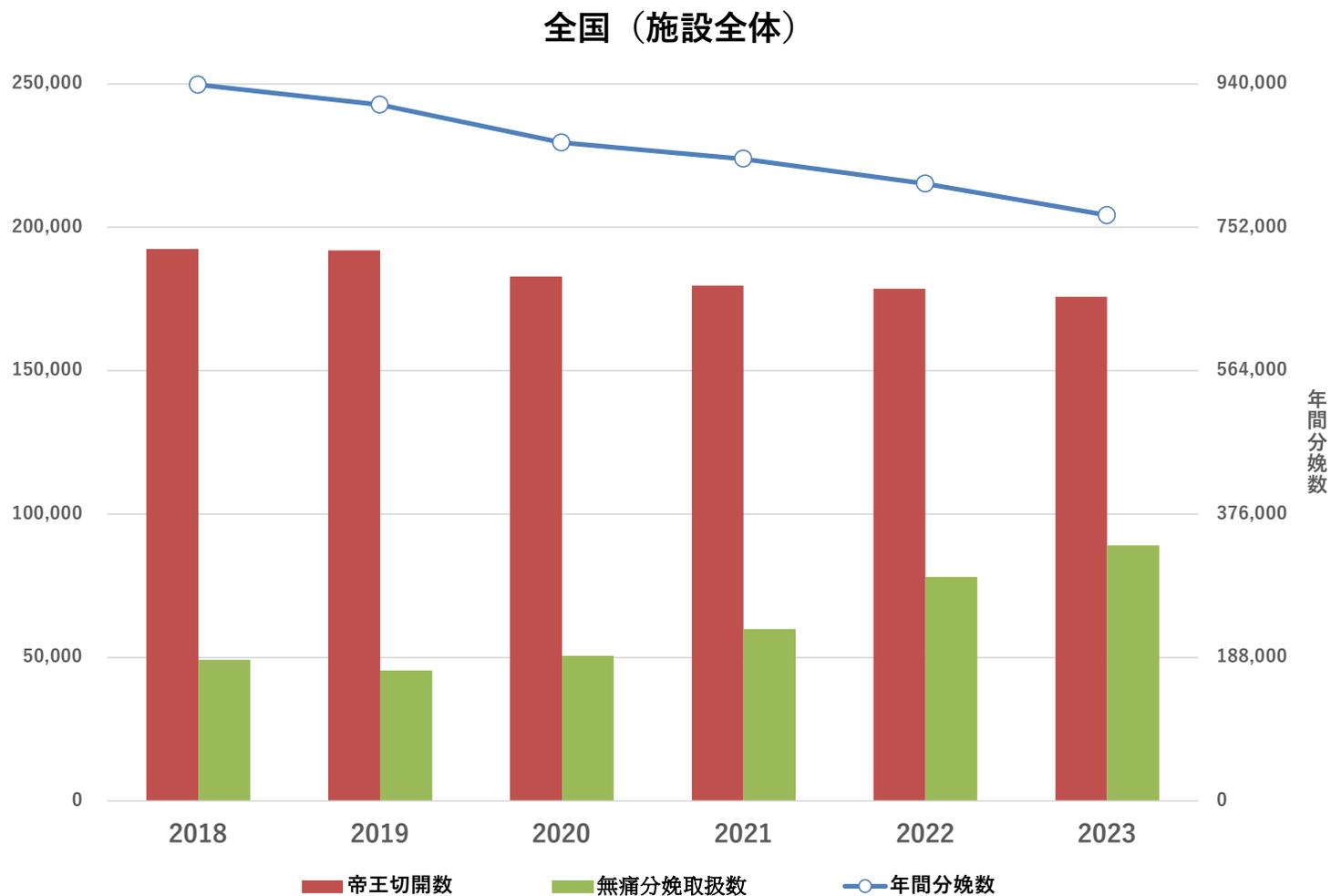


有床診療所
【無痛分娩しない施設】



診療所では無痛分娩の施行の有無で帝王切開率に変化は見られない

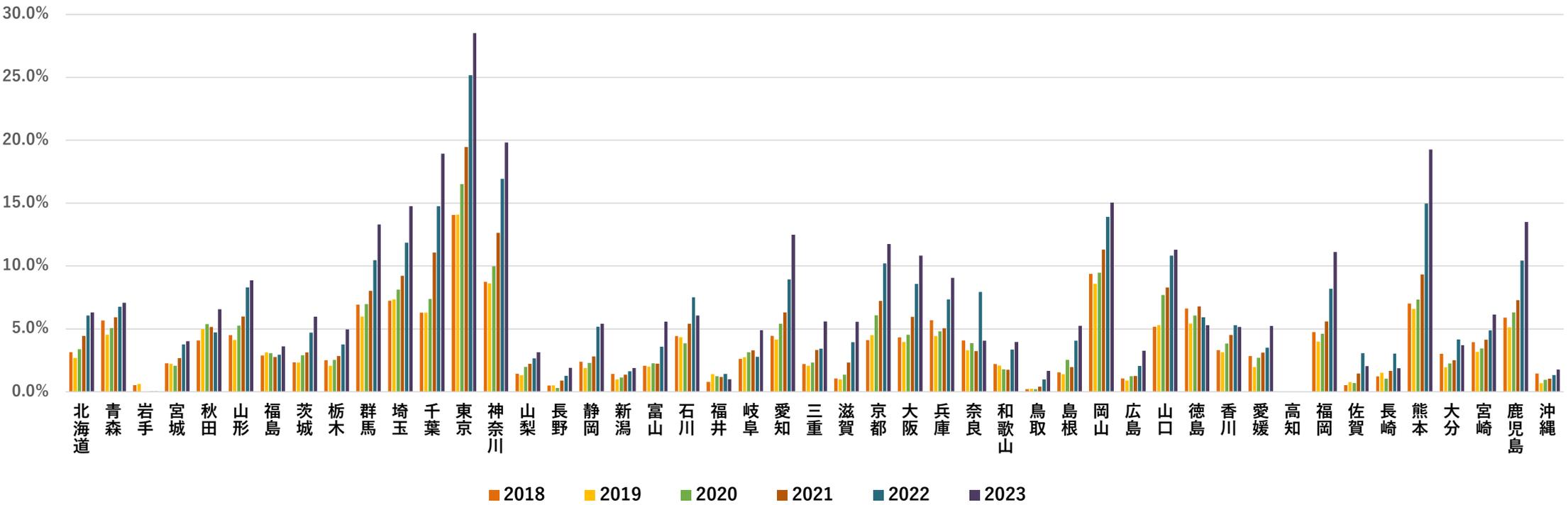
分娩数・帝王切開数・無痛分娩の傾向(全国)





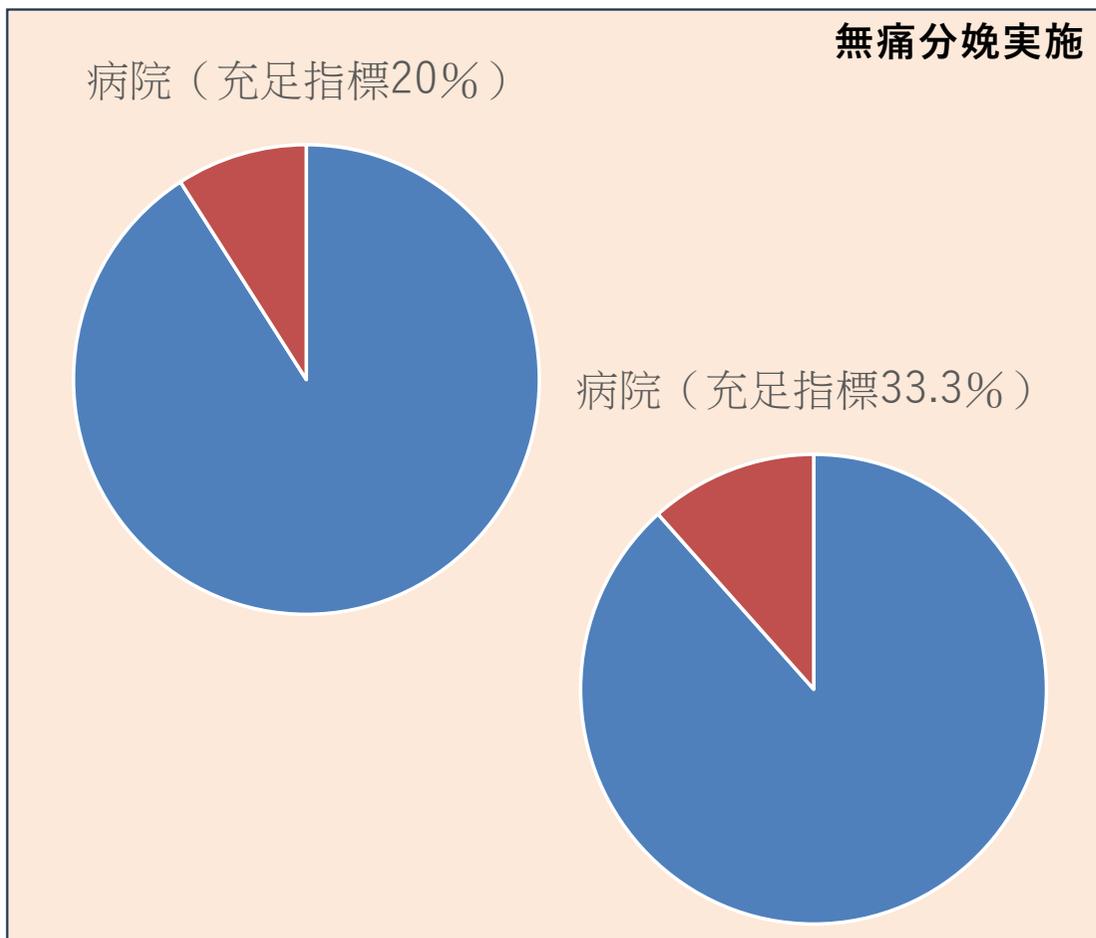
無痛分娩の取り扱い施設数には地域的偏りがある
2023年には京都府と新潟県は集計されていない

全分娩数に占める無痛分娩率

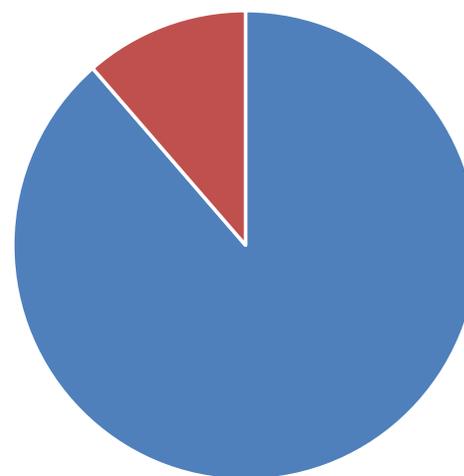


全分娩数に占める無痛分娩の割合は増加傾向にある
地域的偏りがある

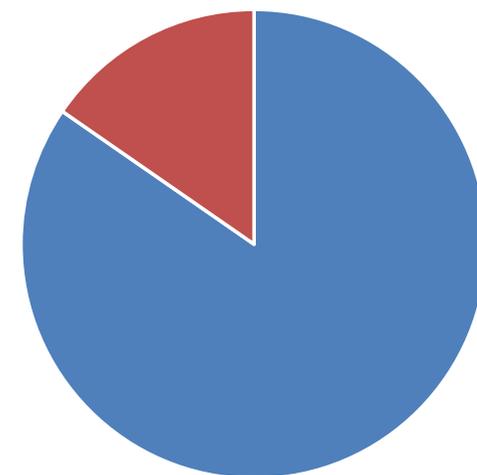
病院におけるNCPR(新生児蘇生法)資格者の充足 (2022年報告で集計)



病院 (充足指標20%)

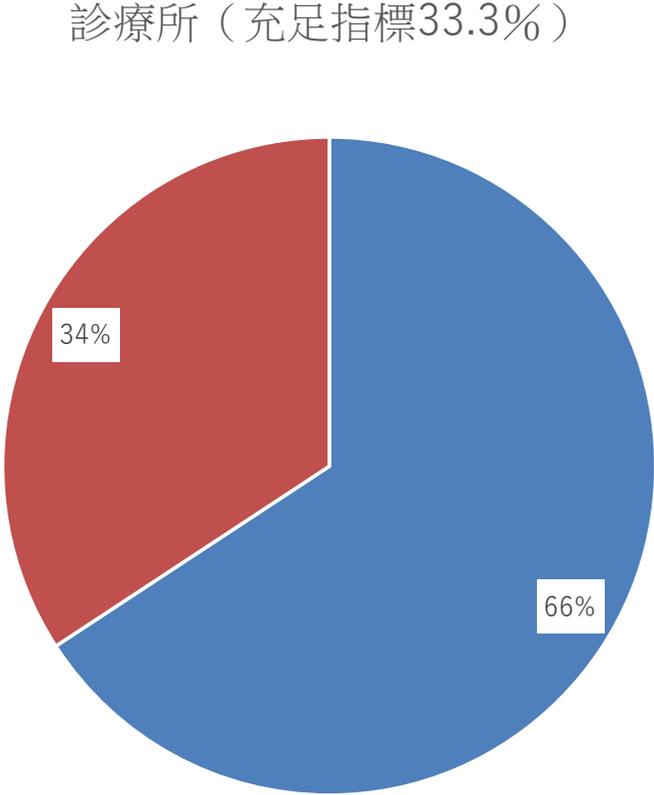
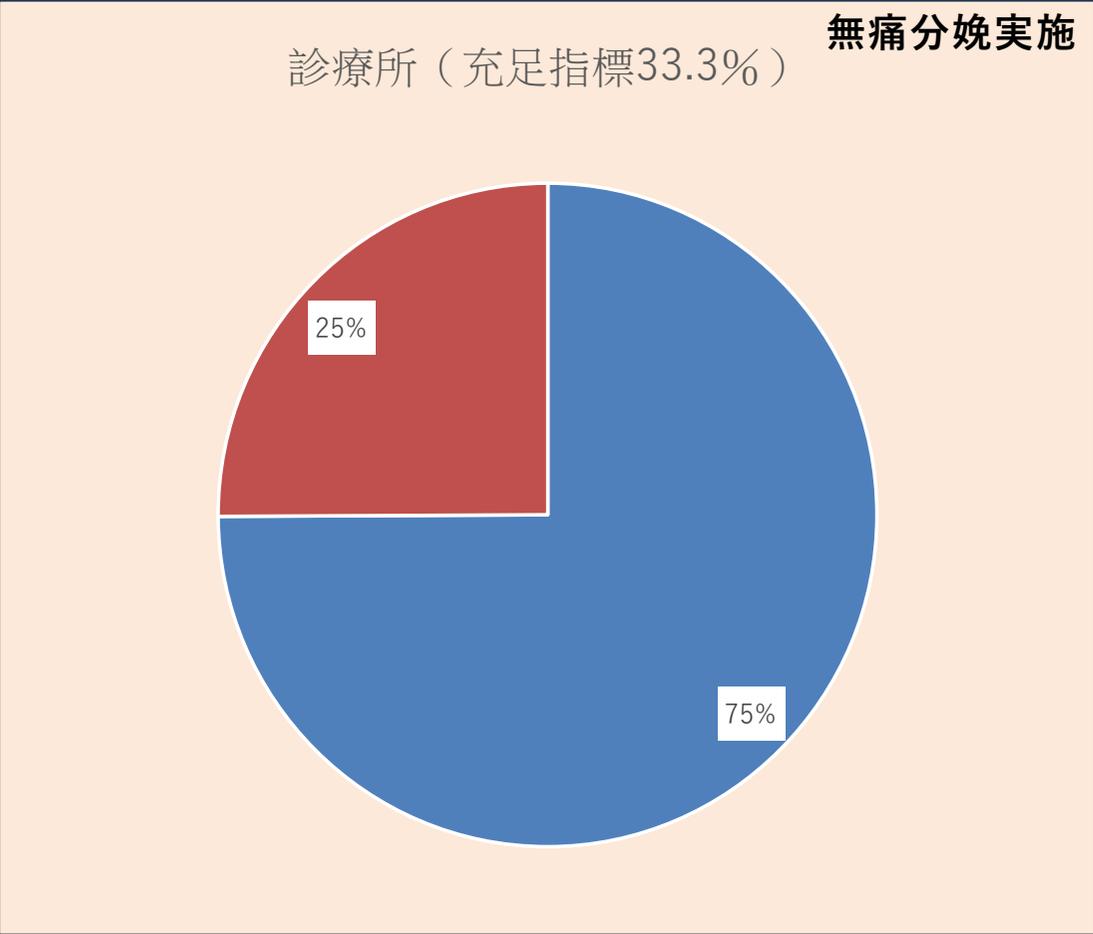


病院 (充足指標33.3%)



充足率：常勤メディカルスタッフのうちNCPR資格者数の割合 5人夜勤:20% 3人夜勤:33.3% として集計

診療所におけるNCPR（新生児蘇生法）資格者の充足 （2022年報告で集計）



充足率：常勤メディカルスタッフのうちNCPR資格者数の割合 3人夜勤として診療所33.3%以上

日本産婦人科医会施設情報から言えること

- ① 日本全体として無痛分娩数は2018年報告の5.2%から2023年報告の11.6%に増加した。
- ② 病院と有床診療所で無痛分娩数は半々である。
- ③ 有床診療所においては、無痛分娩と帝王切開率に一定の傾向は見られない。
- ④ 施設の規模に関わらず全分娩における無痛分娩の割合が増加傾向にある。
- ⑤ 無痛分娩の普及には地域的な偏りがある。
- ⑥ 無痛分娩を施行している診療所ではNCPR資格者の割合が高い。